

母校・札内北小で交流

幕別 マウンテンバイクの山本選手

【幕別】町出身でロードバイク男子クロスカントリー五輪自転車マウンテンバイクに出場した、山本幸平選手



児童に囲まれ笑顔を見せる山本選手

(27) || SPECIAL ZED | 国際アウトドア専門学校、帯広農業高出IIが21日、母校の札内北小学校(沼田拓己校長、児童340人)を訪れ、児童と交流した。山本選手は「ブラジルのリオ五輪に出場して金メダルを取れるよう頑張る」と誓った。

山本選手は、1997年度の卒業生。体育館に集まった児童の大きな拍手の中に入場した。昨年出場した世界選手権(スイス)の映像を見ながら、マウンテンバイクについて「1時間半、全力で走る体力が必要」などと説明した。

実際にレースで使用している自転車を持ち込み、6年生の田中幸太郎君と5年

生の篠原小伯さんが試乗。

手助けしてもらいながら楽しそうに乗り、田中君は「自転車はとても大きかった」、篠原さんは「乗りやすくて気持ちよかった」と笑顔を見せた。

児童会長の守内幸樹君(6年)が「日本代表選手

が先輩であることは僕たちの自慢。山本選手のように夢に向かって努力、挑戦していく」と感謝の言葉を述べた。

山本選手は「子供たちからエネルギーをもらった。

(活動拠点の)スイスに戻って練習を頑張る」と話していた。(平田幸嗣)